



田町保育園だより

2023年2月

津山市田町29

TEL 22-5553

年 主 題

「つながって～今、わたしを生きる～」

一年主題聖句

「あなたの出で立つのも帰るのも、主が見守って下さるように。今も、そしてとこしえに」

(詩編 121 編 8 節)

『外は白い雪の夜』

去る1月25日(水)、記録的な大雪となりました。園庭の積雪は、深いところで40cm超。長靴が、すっぽりと埋まってしまうほどでした。

私は、雪が大好きです。真っ白な雪が降り積もると、心洗われるような思いがします。特に、都市機能の麻痺するほどの大雪が好きです。誤解しないでいただきたいのですが、決して、みんなが困るのが好きなのではありません。交通が止まると、すべての人に迷惑がかかりますし、救急車が止まると、それこそ命にかかわります。

ただ、神が、「もういいかげんにして、頭を冷やさない」と語りかけるかのように、すべての人の上に、平等に雪が降ってきて、浮足立った私たちの心を静める。そんな感覚が好きなのです。

雪が降ると、音が消えます。人の移動や車の量が、ガクンと減るからです。特に、夜などは、し～んと静まります。そんなとき、ふと我に返ります。「私は、何をしているんだろう。何をすべきなんだろう」。

「こんなに 静かな 雪のふる夜は

私の心だけ 故郷へ帰る」

＜2月のテーマ＞

いっしょに (0歳児)

- ・ 友だちの存在を身近に感じて関わり合う。

いっしょに (1・2歳児)

- ・ 保育者や友だちにも思いがあることに気づく。

響き合って (3歳児)

- ・ 子ども同士のつながりが出てくる。喜びを通して心を響かせ合う経験をする。

響き合って (4・5歳児)

- ・ 友だちとの交わりや取り組みがおもしろく、「また明日ね」という期待が続く。

＜新入園児＞ ようこそ、田町保育園へ！

も も 1名

＜お誕生児＞ お誕生日、おめでとうございます！

も も 1名

すみれ 1名

さくら 1名

きく 1名

ばら 1名

ゆり 2名



さだまさしの「聖夜」という歌の一節です。

この「故郷」とは、単なる「生まれた場所」ではなく、もっと本質的で、そこに帰らない限り、自分の幸せはないとさえ思えるような「心の故郷」です。

雪に閉じ込められた静かな夜は、そんな心の帰る場所を思い出すために、与えられた時間です。だから、雪の夜は、雪に頭を冷やしてもらって、心静かに、自分の中の「心の故郷」に、思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。いつもなら見過ごしていた新たな発見が、きっとあるはずです。

(牧師・副園長)

2月の行事予定

2日(木) 避難訓練

3日(金) 豆まき

11日(土・祝) 休園 (建国記念日)

15日(水) 発育測定

18日(土) 生活発表会 (終了後 降園)

21日(火) お誕生会

23日(木・祝) 休園 (天皇誕生日)

25日(土) 資源回収

＜報 告＞

先日の「10年に1度」とも言われる大寒波は、津山にも、観測史上初の大雪をもたらしました。園への送迎やお仕事などにも影響が出られ、たいへんであったことと思います。

去る1月28日(土)の「個人懇談会」では、雪の残るお足元の悪い中、お越しいただき、貴重なお時間・情報を共有できましたこと、心より感謝申し上げます。

雪のために、時間を変更されたご家庭は、また、担任と日程を調整して、懇談をさせていただきたいと存じます。

よろしくお願ひいたします。

＜お知らせ＞

☆ 生活発表会 2月18日(土)

一年間の成長の節目となる大切な行事です。感染状況を踏まえ、観覧人数などを検討しながら、実施の方向で準備しています。

詳細につきましては、後日、改めてお知らせいたします。

